

令和元年度第2回地域包括支援センター運営協議会会議録

日時：令和2年2月4日（火） 午後8時13分 ～ 午後8時22分

場所：二宮町役場 第1会議室

出席者：地域包括支援センター運営協議会委員：9名

事務局：健康福祉部長・高齢介護課長・介護保険班長・介護保険班員2名・地域包括ケアシステム推進班長・地域包括支援センター職員1名

1. 議題

- (1) 令和元年度地域包括支援センター事業中間報告について
- (2) その他

会議の状況

午後 7 時 54 分 開始

会 長 続きまして、令和元年度第 2 回地域包括支援センター運営協議会を開催いたします。まずは、議題 (1) 令和元年度地域包括支援センター事業中間報告について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 それでは資料 A をご覧ください。昨年 4 月から 12 月までの 9 カ月間の報告です。一番目の総合相談業務として、なんでもいろいろな相談をワンストップで受けましょうというもので、昨年度と比べて増加しており、592 件の総合相談を受けております。二番目は介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントです。要支援 1, 2 の認定を受けた方の、ケアプランを作成する事業となっています。昨年度との比較をすると、385 件増加です。こちらのなかで、三番目の項目として委託があり、件数が減っています。これは介護支援事業所に一部の要支援 1, 2 の方のケアマネジメントを委託できるという仕組みになっていますが、委託をしていた事業所が閉鎖したため、包括支援センターが直接行うこととなったための減です。なかなか委託できる事業所が見つかっておらず、マネジメント件数が伸びているような状況です。

続きまして、三番目の権利擁護です。高齢者の虐待が疑われるケース対応が 4 件、成年後見制度の申し立てや消費者被害の対応が 3 件となっております。

四番目の包括的・継続的ケアマネジメントということで、地域ケア会議を毎月 1 回開催させていただいております。ここで、訂正をお願いしたいのですが、地域ケアネットワーク会議が二つあるので、一つを地域ケア課題整理会議に変更をしてください。介護保険事業所連絡会は、大磯町と二宮町の介護保険事業者を中心とした連絡会の運営をさせていただいており、例年通り開催をしております。

五番目のその他として、先ほどの介護保険運営協議会でも報告がありましたが、地域の通いの場に包括支援センターの職員が出向きまして、参加いただける方に出前講座を実施しております。昨年度よりも地区の方より要望も増えており、以下のような形で 27 件の講座を行いました。

地域包括支援センターの中間報告は以上となります。

会 長 事務局から資料の説明がありましたが、委員の皆様ご意見等ございますでしょうか。

委 員 相談件数が増えているということですが、先ほどの会議の保険者機能強化推進交付金で少しお話をしたのですが、圏域当たりの高齢者数 1,500 人に一人というと二宮町は 6.5 人ということになる。現状、包括支援センターの職員が 4 人という常勤換算となっていると思いますが、状況的にはどうなんでしょうか。

委員 マンパワーが足りているかという質問になると思う。

会長 4人でよく頑張ってもらえると思う。本来であれば、6人必要ということか。

事務局 確かに世帯数が縮小しており、家族で介護する方ももちろん多いが、認知症の方が認知症の方を介護するとか、老老介護で何とか支えながら生活されている方もいます。そんな中で、包括支援センターの業務の中だけでなく、先生方や介護事業所を含めネットワークが取れている二宮町だと思っています。後期高齢の方が二宮町は増えており、相談件数は増えていくが、在宅をフィールドにしている皆さんともネットワークの強化をすると共に、入退院がスムーズにいくよう病院とも連携していくことが今後も望まれると思っています。地域支援事業では、在宅医療介護連携の部分で中郡医師会に委託しているものもあり、そこも医者との連携のあり方を検討していければいいと思っています。人数が足りないかどうかは何とも言えないが、皆さんに協力してもらいながら現在は行っています。

会長 現場は、4月に介護を含めた医療改正が行われて大変だ。

会長 続きまして、議題（2）その他について何かありますでしょうか。

事務局 事務局からは特にありません。

会長 それでは、これで令和元年度第2回地域包括支援センター運営協議会を終了いたします。

午後8時22分閉会